



坂巻哲也プロデュース ヘアコサージュ ウェーブショート

# 「ウィッグが自然に見える」簡単テクニック!

「ウィッグが地毛のようになじまない…」 「似合わない気がする…」 そんな時に役立つ「ウィッグの仕上げテクニック」を、髪のプロ、坂巻哲也が教えます。とっても簡単なのに、誰でも自然に仕上がります。

**坂巻哲也**  
銀座・青山・西参道で展開する美容室「apich」代表、サロンワークを中心に、ヘアショー、TV出演、雑誌、美容会と、幅広い活動を展開中。

まずは、じっくり何度も続けて着用することで  
ウィッグがなじみ、自分に似合うポイントが見つかります!

髪型を変えた直後は違和感がある場合も、数日過ぎれば  
見慣れてなじんできますよね? 初めての着用で「あれ?似合わない!?’と  
感じて、何度もかぶってみましょう!

はじめに

Point 1

## 「あれ?似合わない!?’と思ったら 〈3つのポイント〉をチェック!

ウィッグを振って  
キレイなカールを  
出しましょう

ウィッグを上下にしっかり  
振り、全体に空気を含ませ  
ることで、自然なカール  
がよみがえります。



箱から出したての  
ウィッグは毛束が  
まとまった状態



ウィッグの前後  
部分を持って、  
しっかり  
上下に振る



毛束がはぐれて、  
自然なカールに!



Point 2 着用後にチェック

しっかり深くかぶり、  
フィット感を  
高めましょう

ただかぶるだけの着用では、  
ウィッグの頭頂部が浮いてしま  
います。襟足や、こめかみまで  
深くしっかりかぶり、頭全体と  
のフィット感を高めましょう。



後ろからウィッグの内側  
に手をを入れて、ぐっと下  
に引っ張る。



こめかみ部分のワイ  
ヤーを、しっかりフェイス  
ラインに沿わせる。

Point 3

最後にもうひと手間

毛束をつまんで  
持ち上げ、全体に  
動きを出しましょう

着用後、ウィッグを手でなでつ  
けたり押し込めると、トップがベタ  
ベタ不自然な印象に。ウィッグ表  
面の毛束をつまんで持ち上げ、  
全体に動きを出しましょう。



つまむ量を  
これくらい

つまむ量は  
これくらい

完成!  
3つのポイントで  
こんなに違う



自然で美しい  
仕上がりに!  
修正ポイントをおさえて、  
じっくりトライして自分に  
似合うポイントを見つけて、  
素敵なヘアスタイルを  
楽しんでください。



本商品



●カーラー  
●アイロン  
●ドライヤー  
OK!  
※150℃以下

ウィッグスタンド 専用ブラシ ヘアネット

付属品

### ヘアコサージュのこだわり

#### 本品のつむじ



#### 1. 根元のボリューム

髪の根元部分に逆毛を立てて製造することで、ウィッグ全体に自然なボリューム感を出しています。

#### 2. つむじは自然なバランスに

つむじを中央から約1cm右側に寄せて、より自然なスタイルを演出しています。

※素材(髪)の特性で、稀に白髪が混ざっていることがあります。気になる場合は抜いてください。

### ウィッグの裏側構造

ウィッグの裏側には2種類の「装着ピン」とサイドに「アジャスター」と「ワイヤー」がついています。



#### ①フロントピン(装着ピン)

ピンを髪に差し込んで引っ掛けるようにして閉めてください。開くとパチンと音がします。



ピンをクシを髪に差し込み、両端を押さえて留めます。

#### ②バックピン(装着ピン)

ピンを髪に差し込んで引っ掛けます。

③サイドアジャスター 留める時はゴムを引っ張り、留める時はゴムを緩めて調整します。

④サイドワイヤー ワイヤーをこめかみに沿わせます。

## 1 まず、ヘアネットで地毛をまとめる



ネットの太い部分を下にして、ネットを首元までかぶり、地毛を全て出します。

ヘアバンドをつける要領でネットを引き上げて頭にかぶせ、地毛を入れこみ、ネットの先を折り畳みながらお手持ちのピンで留めます。

後頭部に凹凸があるときは、手のひらで円を描くように手で、丸くならします。

## 2 坂巻デザインを体感! ウィッグをつける



ウィッグのフロントピンを開き、前髪の長さを合わせてから額の中央にフロントピンを差し込んで留めます。

額頂部を押さえ、ウィッグを後ろへ引いて額全体を入れ込み、バックピンを踵足に差し込んで留めます。



こめかみ部分をフェイスラインに沿わせます。

2ヶ所のサイドアジャスターでサイズを調整します。

後ろから手を内側に入れてウィッグをぐっと引っ張り、全体にフィットさせます。

#### Point

こめかみ部分のサイドワイヤーが内側に折り込まれないよう注意しましょう。

#### Point

ウィッグのフィット感が足りない時は、耳後ろにあるサイドアジャスターで大きさを調整しましょう。

#### ゴムを調整



### ウィッグスタンド組み立て方法



① 凹のスタンドに凸のスタンドを、輪の中を通すように差し込んでください。

② 上部の凹凸にあわせて差し込んでください。

③ スタンドの上部に固定パーツの凹凸を合わせて完成!

#### Point

ウィッグをスタンドにかぶせて保管してください。ウィッグの形がくずれないように、スタンドの脚部分を正面中央に合わせてかぶせます。



### お手入れ方法

#### 通常のお手入れ

●ウィッグに精液を数回かけて全体を湿らせてから、目の粗いコームで整えます。



●室内で密かされた状態で自然乾燥させます。



#### 汚れが気になる時のお手入れ

ヘアコサージュ専用のシャンプー&リンス(別売り)をお使いください。毎日ウィッグを着用した場合は、2週間に1回程度のシャンプー&リンスでのお手入れが目安です。

●水にシャンプー&リンスを適量入れて湯立て、2〜3分つけ置き、指先で軽く押し洗います。汚れがひどい時は二度洗いしてください。

●流水ですすぎ、タオルで軽く押さえながら水気を取り、室内で密かされた状態で自然乾燥させます。

●完全に乾燥したら、毛先から軽くブラッシングし、毛の流れを整えてください。



【お手入れ上の注意】●過度の押し洗いはスタイルがくずれの原因となります。●濡れた状態でブラッシングすると、毛切れやスタイルがくずれる原因となります。●フレイヤー・理髪器具などでの熱風乾燥は、縮みや傷みの原因となります。【お取り扱い上の注意】●強いブラッシングはウィッグが傷む原因となります。●市販のシャンプーはウィッグが傷むことがありますので使用しないでください。●洗濯機でウィッグを洗わないでください。●毛染め・脱色パーマはおやめください。●乾燥時は外してください。●体質によりかぶれが生じた場合は、使用を中止し、皮膚科専門医等にご相談ください。●150℃より高温のドライヤー、ホットカーラー、ヘアアイロン等は使用しないでください。●また、150℃以下のドライヤー、ホットカーラー、ヘアアイロンの使用時に、一週間に10分以上の使用をしないでください。●ストーブやエアコンの近く、サウナ浴室等、火気のある場所や高温多湿の場所での使用は避けてください。【商品上の注意】美容室またはご自分でカット、パーマ等の熱処理をされた商品、香水やタバコ等の匂い移りのある商品、ファンデーションやヘアスプレー、ベットの毛屑が付着した商品の返品はお受けできませんのでご了承ください。